

科目名： English Pronunciation

1. 担当教員

- ・ 名前： 遊佐 重樹(ゆさ しげき)

2. 授業の目的

(1) 授業の目的

英語のネイティブスピーカーの自然な発声技術を習得することを目的とする。

(2) 到達目標

ネイティブスピーカーの発声方法で英語を発音できる。

(3) ディプロマポリシーとの関連

人間発達学科のディプロマポリシー「1. 演習(ゼミ)、卒業研究だけでなく、全課程を通して、人間科学としての教育学研究の基礎を身につけること。2. 保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の取得を目指す学生は、専門教育課程を通し、資格取得にとどまらず、よりよい職業人としての基礎を身につけること。」に基づき、特に英語の発音に関する知識の獲得を目指す科目である。

3. 授業の概要

英語のネイティブスピーカーの自然な発声技術を習得することを目指す。日本語に存在しない英語の音を徹底的に身につける。特に小学校等、児童英語教育の現場で堂々と英語を発音できるように、基本的な単語を正確に発音できるよう繰り返し練習する。

4. 授業計画と予習・復習の内容及び必要な時間

回	月日	テーマ・内容	予習・復習	備考
1		・オリエンテーション…授業の進め方		
2		・母音① [i:] [i] [ei] [e]	(予習) 前回の授業で指示されたプリントとテキストのページを発音練習する。 (復習) 授業中に録音したものを繰り返し聞いて、発音練習する。	
3		・母音② [æ] [ə] [ə:r] [ʌ] [ɑ] [ɑ:] [ɑ:r]	//	
4		・母音③ [u:] [u] [ou] [ɔ:] [ɔ:r]	//	
5		・母音の復習	//	
6		・子音① [p] [b] [t] [d]	//	
7		・子音② [k] [g] [f] [v]	//	
8		・子音③ [θ] [ð] [h]	//	
9		・子音④ [s] [z]	//	
10		・子音⑤ [ʃ] [ʒ] [tʃ] [dʒ]	//	
11		・子音⑥ [m] [n] [ŋ]	//	
12		・子音⑦ [l] [r]	//	
13		・子音⑧ [j] [w]	//	
14		・子音の復習		
15		・さまざまな音の変化 ・期末テスト(発音)		授業評価実施
予習・復習		教科書とプリントを使った予習が必要。授業前に必ず該当する教科書のページに目を通して、		

発音練習してくること。復習では、その日のうちに録音したものを何度も聞いて発音練習すること。目安の時間として、授業 1 コマにつき、予習 120 分、復習 120 分が必要。

※ 授業の展開によっては変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

5. 評価方法

- (1) 期末テスト(50%)…口頭試験。(内容は追って発表する)
- (2) 受講態度(50%)

6. 履修上の注意

- ・受講に際して、心配や不安なことがある場合は、必ず2回目の授業までに担当者に相談してください。事情によっては、レポートなどの代替課題を課すなどの、特別な配慮を行う場合があります。
- ・プリント教材を整理保管するため、クリアファイルを用意すること。